カラマツ検定林を造成しました

令和３年６月３０日

林木育種を進めていく上で、育種材料である精英樹の評価を行うこと、また精英樹を交配して優れた次世代を選抜することは大変重要です。北海道では、カラマツやカラマツとグイマツを交配した雑種 F_1 の苗木を用いた造林が盛んに行われているため、これらの樹種について積極的に育種を進めていく必要があります。そのため、継続的に検定林を造成するとともに、検定林（試験林）の中から優れた次世代個体をエリートツリーとして選抜することを進めています。

北海道育種場では、３年前からカラマツ検定林造成に向けて第一世代精英樹の種子から苗木を育て、この春（2021 年４月）に石狩森林管理署管内の国有林に２箇所の検定林を造成しました。面積はそれぞれ 1.50ha 及び 1.03ha で、植栽木は合わせて 4,696 本になります。１箇所の検定林は林内を４つに区分し、異なる植栽密度で苗木を植栽し、密度試験地も兼ねています。４月下旬に植栽し、およそ１か月後には最初の樹高調査（植栽時調査）を行いました。

今後は、定期的に成長等の調査を行い、精英樹の評価と検定林植栽個体からのエリートツリー（第二世代精英樹）の選抜を行うことを計画しています。

検定林への搬出に向けた苗畑での掘り取り作業

検定林への植栽

植栽およそ１か月後の樹高調査

（北海道育種場）